

科目名	音楽学演習	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	アルバレス・ホセ・サンティアゴ	単位	1	年次	3

＝授業科目の目標＝

音楽教育コースでは、4年次に卒業論文ないし、卒業研究が必修として課せられます。その準備を整えるために開設されているのがこの科目です。とりわけ、人間の生の営みの中で、音楽、社会や民族、風土などの関係を中心としたテーマに関心を持つ学生を対象とした演習です。

＝履修の条件と学習の方法＝

卒業研究(論文)のテーマのしぼり込みを最低限の目標とし、さらにそのテーマに則した先行研究や資料に関する学びに到達することをねらいとしています。そのための心構えを持つことが、履修の条件です。

演習科目ですので、各自の学習内容に関する発表や討論を中心に組み立てます。

受講者少数の場合は、個別演習の形をとることもあります。

以下の授業内容は、受講者が多く、一斉授業をした場合の例です。

＝授業内容＝ (例)

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 受講者が関心を寄せる暫定的な研究課題の確認(1)
- 3回 受講者が関心を寄せる暫定的な研究課題の確認(2)
- 4回 暫定的な研究課題から研究対象のしぼり込みの可能性を探る(1)
- 5回 暫定的な研究課題から研究対象のしぼり込みの可能性を探る(2)
- 6回 研究対象のしぼり込みの結果報告と討論(1)
- 7回 研究対象のしぼり込みの結果報告と討論(2)
- 8回 研究対象に関わる先行研究や資料の紹介(1)
- 9回 研究対象に関わる先行研究や資料の紹介(2)
- 10回 先行研究から学んだことと、自らの研究目標との関連について考察する(1)
- 11回 先行研究から学んだことと、自らの研究目標との関連について考察する(2)
- 12回 現時点で行うべき、資料研究やフィールドワークの設定について(1)
- 13回 現時点で行うべき、資料研究やフィールドワークの設定について(2)
- 14回 研究計画書の作成
- 15回 研究計画書の内容の確認

＝成績評価の方法と評価の基準＝

受講状況やプレゼンテーション(発表)の内容や討論への参加の姿勢などを総合して評価します。授業内容によっては、プロトコルやレポートの提出を求めることがあります。

＝テキスト(必携)＝

必要に応じて、その都度指示します。